

# 看護学科「地域定着枠(キャリア形成支援枠)」の概要

## 青森県立保健大学



地域定着枠(募集人員5名)

### キャリア開発センター

キャリアサポートコーディネーター配置



### <②面談・相談・意向聴取・支援>

地域定着枠学生と面談し、相談に応じながら、卒業後の勤務の意向を聴取する。

### <③協議・調整>

学生の意向を踏まえ、地域の急性期病院と協議・調整する。

### <⑤プログラムの運用、進捗管理、支援>

ローテート勤務開始後は、地域の急性期病院とともに、プログラムの運用、進捗管理、支援等を行う。

## <連携・協力・支援>



これからの地域に求められる看護職員の育成

- ・地域の病院等の機能がわかる。
- ・地域の関係機関等との連携に強い。
- ・地域全体の医療を理解する。
- ・総合力・実践力を有する。



## <連携・協力・支援>

### <期待される成果>

- ①これからの地域に求められる総合力・実践力のある看護職員の育成
- ②青森県内で活躍し、定着する看護職員の増加
- ③地域の看護連携の推進、看護の質の向上
- ④今後の医療提供体制を見据えた看護職員の育成と配置、地域医療構想の具体化・進展



急性期の病院  
(中核病院、その他の急性期病院)

回復期の  
中小病院

慢性期・在宅医療  
の診療所等

キャリアサポートプログラムに基づき、急性期の病院を拠点に、回復期の中小病院、慢性期・在宅医療の診療所等を5年～9年間ローテート勤務する。

### <①モデルプログラムの作成・提示>

地域定着枠学生のキャリア形成に有益であり、看護連携の推進、看護の質の向上を図るなどの観点から、モデルとなるキャリアサポートプログラムを策定し、学生に提示する。

### <④学生の意向を踏まえたプログラムの作成・提示>

キャリアサポートコーディネーターと協議しながら、必要に応じ学生と面談し、その意向を踏まえたキャリアサポートプログラムを策定し、提示する。

### <⑤プログラムの運用、進捗管理、支援>

ローテート勤務開始後は、キャリアサポートコーディネーターとともに、プログラムの運用、進捗管理、支援等を行う。